

大野小 和して進む

大野小だより 令和4年度 第15号

令和5年3月24日発行

TEL : 42-1011 FAX : 43-7268

E-mail : ohnoshou@tac-net.ne.jp



令和4年度 卒業式 式辞



伊勢湾の向こうに見える鈴鹿の山々の雪もわずかとなり、肌に触れる風にも春を感じるようになってきました。今、49名の卒業生の皆さんに卒業証書を授与しました。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業証書には「小学校の課程を卒業したことを証する」と書かれています。この卒業証書には、12年間生きてきた卒業生、皆さんの人生の半分、6年分がつまっています。大切に持ち続けてほしいと思います。

そして、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。これまで大切に育ててこられた月日、様々なことが思い起こされ、感慨もひとしおのことだと思います。また、皆様には新型コロナウイルス禍の中、本校の教育活動を温かく見守り、本当に多くのご協力とご支援をいただきました。皆様のお力添えがあったからこそ、私たち職員も子どもたちの成長を支えることができ、子どもたちも困難や苦しさを乗り越え、大きく成長することができました。本当に感謝申し上げます。

本来であれば、ここに地域の方も迎え、卒業生の門出をお祝いするところですが、かないませんでした。卒業生は、保護者や学校だけでなく、地域にとっても大切な子どもたちです。子どもたちのさらなる成長に向け、今後も保護者・地域・学校、三者で力を合わせ、温かく見守り、励ましていけたらと思います。

さて、卒業生の皆さん。皆さんにとって、この大野小学校での6年間はどうかだったでしょうか。楽しいことや嬉しいこと、また悔しいこともあったと思います。



4年生からの高学年に向けて、ペアのお兄さん・お姉さんとして頑張りたいこと、委員会やクラブについても、やる気でいっぱいだったことだと思います。そんな3年生の終わりの時に、新型コロナウイルスの影響による臨時休校やマスクの着用、いろいろな対策をした上での行事の実施など、考えて取り組まなければいけない状況ばかりでした。そんな中でも、皆さんは校訓「和して進む」のように、自分だけでなく、「相手を大切にし、仲良く協力して」学校生活や行事に取り組んできました。そんな皆さんは、1年生から5年生までの下級生達から見たら、尊敬できる先輩、「誇り」だったと思います。多くのことに頑張って取り組んでくれて、ありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

中学生になると部活動が始まります。勉強や運動にも、今まで以上にがんばらないといけないかもしれません。そんなときでも、大野小学校でのことを忘れずに全力で取り組んでください。卒業生の皆さんなら、きっと乗り越えていけるとと思います。がんばってくださいね。

最後に、皆さんが受け継いできた、伝統の「櫛（たすき）」である校訓「和して進む」、そして「日本一 みんなにっこり大野小」を、大野小学校はこれからも大切にしていきたいと思います。

卒業生の皆さんの輝かしい未来を願い、これを式辞とさせていただきます。

令和5年3月20日

常滑市立大野小学校長 小林 哲子

4月からの大野小の新型コロナウイルス感染症に関する取組について

- 通常の学校生活において、マスクの着用を求めません。ただし、本人(家族)の意思によりマスクを着用することも認めます。
- 朝の検温結果についての報告は求めません。しかし、欠席の場合は、報告フォームをご利用ください。
- 給食については、適切な換気をする、大声での会話を控える(黙食ではない)、机を向かい合わせにしない（する場合は前方1m程度、左右50cm程度の距離をとる）ことを意識して行います。

今までと同様に、①「三つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）」の回避、②人と人との距離の確保、③手洗い等の手指衛生をしっかりと行っていきます。

何か気になることや心配なことがある場合には、遠慮なく学校までご連絡ください。

